

## 水源環境保全・再生かながわ県民会議 活動結果報告

平成22年11月7日に開催した「市民事業交流会（中間報告会）」の内容は次のとおりでした。

名 称	市民事業交流会（中間報告会）														
	市民事業委員	齋藤 光弘、沼尾 波子、萩原 なつ子、林 義亮、増田 清美													
開催日時	平成22年11月7日（日） 13:00～16:30														
開催場所	プロミティあつぎA+B会議室														
出席者	木下奈穂、木平勇吉、新堀豊彦、沼尾波子、萩原なつ子、林義亮、増田清美														
参加者	28名														
内 容	<p><b>1. 主催者あいさつ 増田委員</b></p> <p>本日の市民事業交流会は、市民活動の状況についての情報交換の場であり、団体相互のネットワークづくりを通じて、交流の促進や市民事業の拡大・拡充を目的としている。皆様の活発な議論を期待する。</p> <p><b>2. 第1部 活動状況報告</b></p> <p>第1部は、平成22年度補助事業者の方から、現在取り組んでいる活動について報告いただいた。</p> <p>どの団体も活発に活動をしており、会場の参加者から活動内容や地主との関係性などについて、質問が数多く寄せられた。</p> <p><b>【報告団体一覧（8団体）】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">普及啓発・教育事業</td> <td>① 緑のダム北相模</td> </tr> <tr> <td>② NPO法人 山崎・谷戸の会</td> </tr> <tr> <td>調査研究事業</td> <td>① 四十八瀬川自然村</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">特別対策事業</td> <td>① NPO法人 ふじの森のがるでんセンター</td> </tr> <tr> <td>② NPO法人 湘南二宮・ふるさと炭焼き会</td> </tr> <tr> <td>③ NPO法人 伊勢原森林里山研究会</td> </tr> <tr> <td>④ 森のなかま</td> </tr> <tr> <td>⑤ 海老名里山づくりボランティア山仕事の会</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3. 市民事業等支援制度評価について 沼尾委員</b></p> <p>○団体の皆様へ制度評価のアンケートを送付させていただくとともに、いくつかの団体についてはモニターにお邪魔し、直接、制度への意見を伺ってきた。</p> <p>本日、グループワークというせっかくの機会なので、皆様の活動を活性化するために、それぞれの団体が行っている工夫や、どういった支援があればよいか、ということ情報を共有しつつ、議論していただき、交流のよい機会として活用していただきたい。</p> <p><b>4. 第2部グループワーク</b></p> <p>第2部は「市民事業を活性化するため～団体の自主的活動の活性化と公的支援への期待について～」というテーマで、萩原委員の講話の後、3つのグループに分かれ、参加者相互の意見交換が行われた。</p> <p><b>（萩原委員）</b></p> <p>○税金を使っているのに、透明性の確保や説明責任を問われるため、手続きが煩雑になりがちである。しかし、民間財団の支援だからと言って手続きが簡単かといえば、そうでもない。</p> <p>○様々な助成金にたくさんトライしてほしい。色々な助成金に申請をすると自分の活動を見つめ直すきっかけにもなる。</p> <p>○情報収集が大切。NPO支援センターなどに各種助成金情報が集約されているので、活用して欲しい。申請書が出されることで新たな支援プログラムが出来るきっかけにもなる。</p> <p>○より良い仕組みにしていくために、たくさんの意見を出して欲しい。</p>		区分	団体名	普及啓発・教育事業	① 緑のダム北相模	② NPO法人 山崎・谷戸の会	調査研究事業	① 四十八瀬川自然村	特別対策事業	① NPO法人 ふじの森のがるでんセンター	② NPO法人 湘南二宮・ふるさと炭焼き会	③ NPO法人 伊勢原森林里山研究会	④ 森のなかま	⑤ 海老名里山づくりボランティア山仕事の会
区分	団体名														
普及啓発・教育事業	① 緑のダム北相模														
	② NPO法人 山崎・谷戸の会														
調査研究事業	① 四十八瀬川自然村														
特別対策事業	① NPO法人 ふじの森のがるでんセンター														
	② NPO法人 湘南二宮・ふるさと炭焼き会														
	③ NPO法人 伊勢原森林里山研究会														
	④ 森のなかま														
	⑤ 海老名里山づくりボランティア山仕事の会														



実施状況報告の様子



報告に耳を傾ける参加者

内 容  
(続き)

## 【各グループの結果報告概要】

### (第1グループ)

- 会員が専門知識をもつための支援
- 助成金が100%ではなく50%というのは不満
- 限度額50万では購入できない機器もあり、共同購入・使用を検討してほしい
- 支払形態(事業が終わってからでないと支払われない現状)
- ボランティア保険の対象(山仕事)としてもらいたい
- 県のたより等による、県との連携した広報の実施
- 流域の石垣の崩壊対策についても補助対象にしてほしい
- 団体のリーダーとなれる人の育成

### (第2グループ)

- 後継者の育成・資金確保・行政との連携が大きなテーマ
- 学校と連携した活動で、若手人材の確保
- 助成金の一覧(県全体)を示してほしい
- 機材メンテナンスに対する助成の実施
- 補助金の使用目的範囲がせまい
- 行政の横のつながりを強化してほしい  
(子育て部門・環境部門や市町村等と問題意識の共有を図るべき)
- 企業とのパイプ役として、行政に介入してほしい
- ボランティア=無償という意識を見直してほしい

### (第3グループ)

- 人材の確保(特に若手)
- 団体の指導者育成のための有資格者制度、コーディネーターの制度を県がつくる
- 県が技術指導の出前講座を各団体に問い合わせたらどうか
- 審査対象の枠を広げてもらい、活動内容を深めたい
- グループワークの時間を増やしてほしい(2部制に)
- 補助金についての相談窓口になる市町村職員を指導してほしい
- 事業の継続的・長期的な支援制度を
- 団体の人件費の確保
- ソフト面の支援の充実を(各団体の事情を聞いて幅広く支援)
- ネットワークの構築にかかる費用の支援(団体HPなど)
- 財源の継続した支援(啓発・教育事業への補助率低い)



グループディスカッション風景



グループ結果報告

## 5. 閉会あいさつ

### (萩原委員)

- 複数の資金源を持つことが大切。そのうちの1つとして、この補助金を利用すべき。
- 行政の縦割りをなくすために、他部署との連携を図るべき。例えば、若手の参加の促進には、ワークライフバランスの確保が必要。
- 団体はそれぞれ忙しいだろうが、各団体で戦略的にネットワークの構築をしてほしい。
- LLC(有限責任会社)という形態で、お金をNPOに渡す地域づくり団体もあり、資金確保の手段は多々ある。情報収集をしてほしい。
- 神奈川県は支援センターが充実しているため、積極的に使用するとよい。



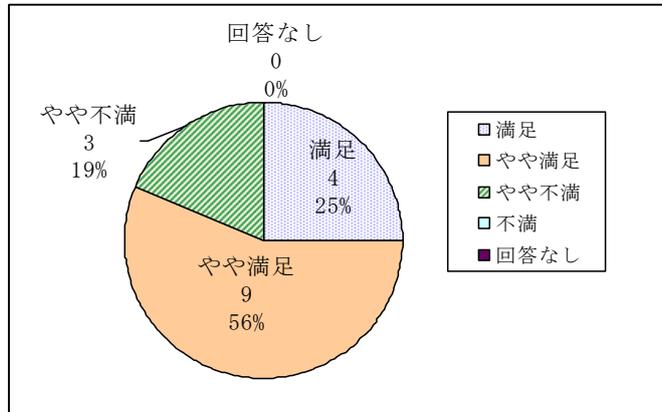
閉会あいさつ

## 平成22年度市民事業交流会 アンケート集計結果

今後の取組の参考とするため、交流会に参加いただいた方々にアンケートをお願いしたところ、多数のご回答をいただきました。集計結果は次のとおりです。

■回収したアンケート数…16枚（内訳：平成22年度補助事業者13枚、その他の団体1枚、未記入2枚）

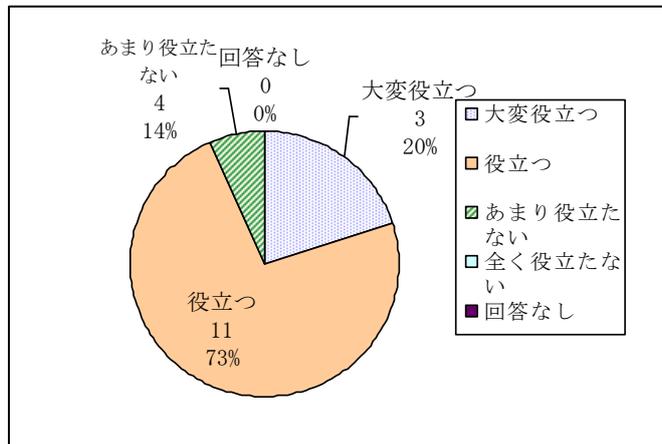
### Q1 本日の交流会はいかがでしたか。



#### 主な意見

- 満足できた点
  - ・他団体の活動状況がわかった
  - ・活動していく上での励みになった
  - ・他団体と課題を共有し合えた
- 不満だった点
  - ・報告時間が少なく、情報交換が十分にできなかった
  - ・活動状況（補助対象事業の計画に対する実績）がわからないものが多い

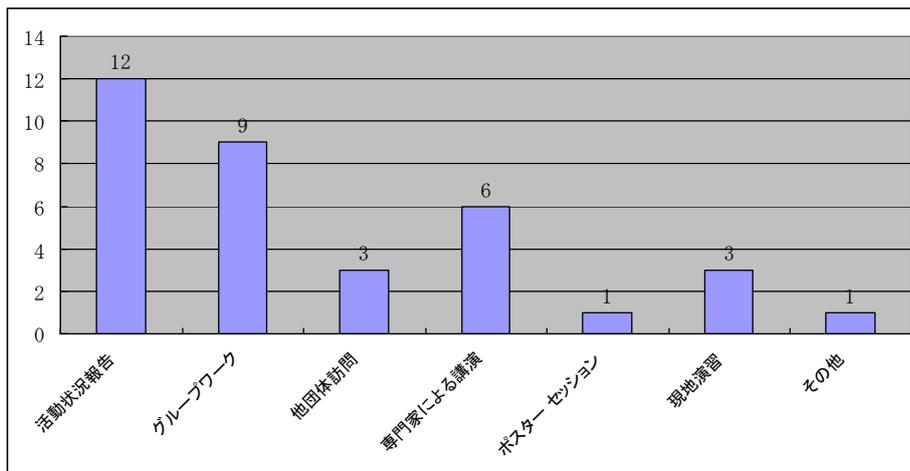
### Q2 本日の交流会は今後の活動に役立ちますか。



#### 主な意見

- 良かった点
  - ・他団体の問題点がわかり、所属団体との比較ができた
  - ・多くの団体の人達の活動状況を知ることができた
  - ・問題の共有化ができた
  - ・チェーンソー作業は、ボランティア保険の対象にならないことがわかった
- 悪かった点
  - なし

### Q3 今後、交流会を開催する場合、どのような内容を希望しますか（複数回答可）



### Q4 その他、ご意見・ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・交流会は1～3月の開催を希望
- ・今回のような日程で十分である
- ・経費科目の運用拡大を希望
- ・水源環境の対象範囲を広げるべき
- ・5か年の事業ではなく、中・長期的な計画を
- ・事業制度への問い合わせ等（市町村）窓口の設置を希望
- ・活動状況報告会である為、団体の助成事業以外の報告は不要

# 市民事業交流会（中間報告会）プログラム

日時：平成22年11月7日（日） 12:30～

場所：プロミティあつき A・B会議室

時間	内容
12:30 ～ 13:00	開場 受付、ポスターセッション
13:00 ～ 13:05	開会 あいさつ（市民事業専門委員会委員 増田 清美）
13:05 ～ 14:15	<b>第1部 活動状況報告（70分）</b> (1) 普及啓発・教育事業 ① NPO法人 緑のダム北相模 ② NPO法人 山崎・谷戸の会  (2) 調査研究事業 ① NPO法人 四十八瀬川自然村 (3) 特別対策事業（森林の保全・再生事業） ① NPO法人 ふじの森のがるでんセンター ② NPO法人 湘南二宮・ふるさと炭焼き会 ③ NPO法人 伊勢原森林里山研究会 ④ 森のなかま ⑤ 海老名里山づくりボランティア山仕事の会
14:15 ～ 14:30	休憩（ポスターセッション）
14:30 ～ 14:45	市民事業等支援制度評価について
14:45 ～ 15:05 ～ 16:05  ～ 16:25	<b>第2部 グループワーク</b> (1) 講話及びオリエンテーション（20分） (2) グループワーク（60分） 団体同士の情報交換や情報共有を目的として実施します。 どなたでも御参加いただけますので、当日来場の方で参加を希望される場合は、受付まで御連絡ください。 【テーマ】 市民事業を活性化するため ～団体の自主的活動の活性化と公的支援の期待について～ (3) 各グループから報告（20分）
16:25 ～ 16:30	閉会あいさつ （市民事業専門委員会副委員長 萩原 なつ子）
16:30 ～ 17:30	会場にて御自由に情報交換・意見交換を行っていただけます。 事務局による補助金相談コーナーも引き続き実施します。